

次の資料にもとづいて、当期の貸借対照表および損益計算書を完成させなさい。なお、税効果会計を適用し、法定実効税率は40%とする。また、法人税等調整額が貸方残高となる場合、数値に「△」を付すこと。

## 資料1 決算整理前残高試算表（一部）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
繰越商品	30,000	建物減価償却累計額	10,000
建物	200,000	売上	784,500
繰延税金資産	2,400		
仕入	450,000		

## 資料2 決算整理事項

- 期末商品帳簿棚卸高10,000千円、期末商品実地棚卸高9,500千円、期末商品実地棚卸高の正味売却価額9,300千円 棚卸減耗損は売上原価に算入する。  
棚卸減耗損は税務上も損金算入が認められるが、商品評価損は税務上損金に算入されない。なお、前期末において商品評価損は計上していない。
- 前期首に取得した建物(取得原価200,000千円)に対し、以下の条件で減価償却を行った。  
償却年数：20年 償却方法：定額法 残存価額：ゼロ  
税務上の法定耐用年数は50年(残存価額はゼロ、定額法)であり、前期末における減価償却超過額は6,000千円であった。
- 当期の法人税等として70,000千円を計上する。

損益計算書 (単位：千円)		貸借対照表 (単位：千円)	
I 売上高	784,500	商品 ( )	未払法人税等 ( )
II 売上原価		建物 200,000	減価償却累計額 ( )
期首商品棚卸高 ( )		繰延税金資産 ( )	
当期商品仕入高 ( )			
合計 ( )			
期末商品棚卸高 ( )			
差引 ( )			
棚卸減耗損 ( )			
商品評価損 ( ) ( )			
売上総利益 ( ) ( )			
III 販売費及び一般管理費			
減価償却費 ( )			
	:		
税引前当期純利益	164,300		
法人税等 ( )			
法人税等調整額 ( ) ( )			
当期純利益 ( )			

## | 解答 |

損益計算書		(単位：千円)
I 売上高		784,500
II 売上原価		
期首商品棚卸高	( 30,000)	
当期商品仕入高	( 450,000)	
合計	( 480,000)	
期末商品棚卸高	( 10,000)	
差引	( 470,000)	
棚卸減耗損	( 500)	
商品評価損	( 200)	( 470,700)
売上総利益		( 313,800)
III 販売費及び一般管理費		
減価償却費	( 10,000)	
		:
税引前当期純利益		164,300
法人税等	( 70,000)	
法人税等調整額	( △2,480)	( 67,520)
当期純利益		( 96,780)

貸借対照表		(単位：千円)
商 品	( 9,300)	未払法人税等 ( 70,000)
建 物	200,000	減価償却累計額 ( 20,000)
繰延税金資産	( 4,880)	

## | 解説 |

(以下、仕訳の単位：千円)

## 1. 商品評価損

(仕 入)	30,000	(繰越商品)	30,000
(繰越商品)	10,000	(仕 入)	10,000
(棚卸減耗損)	500 <sup>01)</sup>	(繰越商品)	700
(商品評価損)	200 <sup>02)</sup>		

(繰延税金資産)	80 <sup>03)</sup>	(法人税等調整額)	80
----------	-------------------	-----------	----

01) 棚卸減耗損：10,000千円-9,500千円=500千円

02) 商品評価損：9,500千円-9,300千円=200千円

03) 繰延税金資産：200千円×0.4=80千円

## 2. 減価償却

(減価償却費)	10,000 <sup>04)</sup>	(建物減価償却累計額)	10,000
---------	-----------------------	-------------	--------

(繰延税金資産)	2,400 <sup>05)</sup>	(法人税等調整額)	2,400
----------	----------------------	-----------	-------

04) 減価償却費： $\frac{200,000\text{千円}}{20\text{年}} = 10,000\text{千円}$

05) 税務上の限度額： $\frac{200,000\text{千円}}{50\text{年}} = 4,000\text{千円}$

繰延税金資産：(10,000千円-4,000千円)×0.4=2,400千円

## 3. 法人税等

(法人税等)	70,000	(未払法人税等)	70,000
--------	--------	----------	--------

## 解答数値

法人税等調整額：80千円 + 2,400千円  
= 2,480千円

繰延税金資産：

2,400千円 + 80千円 + 2,400千円 = 4,880千円

問題

01

### 繰延税金資産の計上1

解答・解説 P.13-01

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問題

02

### 繰延税金資産の計上2

解答・解説 P.13-02

損益計算書 (単位：千円)

I 売上高	784,500
II 売上原価	
期首商品棚卸高 ( )	
当期商品仕入高 ( )	
合計 ( )	
期末商品棚卸高 ( )	
差引 ( )	
棚卸減耗損 ( )	
商品評価損 ( )	( )
売上総利益	( )
III 販売費及び一般管理費	
減価償却費 ( )	
	:
税引前当期純利益	164,300
法人税等 ( )	
法人税等調整額 ( )	( )
当期純利益	( )

貸借対照表 (単位：千円)

商 品 ( )	未払法人税等 ( )
建 物 200,000	減価償却累計額 ( )
繰延税金資産 ( )	